

～成長・発展にチャレンジする市内中小企業を後押し～

中小企業新技術・新製品開発促進事業(SBIR) 助成金交付対象事業を決定しました

横浜市では、中小企業が積極的に新技術・新製品開発に取り組めるように研究開発経費を助成する「中小企業新技術・新製品開発促進助成」を実施しています。このたび、有識者から成る審査会を経て助成金交付対象事業が決定しました。

34件の申請に対し、12件の事業計画を助成金交付対象と決定し、今後合計で約8,400万円(予定)の助成金を交付し、各企業が新技術・新製品の研究開発を進め事業化を目指します。

■助成金交付対象事業 *企業名 50音順

1 学習用新規パネルと専用タブレット開発(4歳以上向け)〈開発2か年1年目〉

株式会社 I CON (神奈川区)

お子様の成長に合わせたプログラミング学習用玩具を開発する。

2 パネルの故障等で低下した発電出力を補償する、太陽光発電所の遠隔監視・出力制御システムの開発〈新技術・新製品開発2か年2年目〉

ウインテスト株式会社(西区)

太陽光発電所の保守点検管理作業を効率化する遠隔監視・出力制御システムを、パネルの故障や草木の影等で低下した発電出力を補償し、さらに故障箇所を特定する機能と共に開発する。

3 表情認識による苦痛度判定システムの研究〈研究〉

ギトウシステムズ株式会社(南区)

顔画像認識により集中治療室入室の無意識状態にある患者の表情から機械学習、深層学習を用いた鎮静・鎮痛判定モデルを構築し、その判定を行うためのアプリケーションを作成する。

4 薬物吸収性予測のための iPS 細胞由来小腸細胞プレートの開発〈開発1か年計画〉

株式会社ジェノメンブレン(鶴見区)

医薬品開発過程において、新薬がどの程度体内に吸収されるか予測困難な事が開発中止の一因となっている。ヒト iPS 細胞から分化誘導した小腸細胞を用い、小腸における薬物吸収性を評価するためのキットを開発する。

5 「音響透かし」による歩きスマホの危険軽減ソリューションの研究〈研究〉

スタビリティ株式会社(西区)

本研究は歩きスマホについての対策である。

新たに「音響透かし」の技術を用いて、駅での案内放送やBGMに不可聴音域の音声信号を埋め込み、スマホ利用者に直接、利用制限をかける対策を行う。

6 マルチファンクション組み合わせユニット壁の開発<開発2か年1年目>

株式会社高千穂(西区)

次世代省エネ性とプロジェクション対応性を有する、組み合わせ自由なユニット壁面を開発する。それにより、施工が容易で拡張性のある、単なる間仕切りではない、機能的で能動的な壁面を創出する。

7 高出力型X線電源装置の開発<開発2か年1年目>

トーレック株式会社(港北区)

鋼材・鋳造部品の非破壊検査に高出力型のX線装置は多く使われているが、300kVを超える電源装置はすべて海外製であり国内ユーザーの経済性・利便性を損ねている。このため、450kV電源装置の開発によりそれらの損失を解消する。

8 産業用作業向け装着型下肢支持装置の開発<開発2か年1年目>

株式会社ニットー(金沢区)

「立ち仕事をする方々の負担を軽減したい」という思いから、産業向けに装着型下肢支持装置の開発を行う。工場作業者の身体的負担を軽減し産業界の労働環境改善に寄与することを目的とする。

9 IoTを利用した船舶エレベーターメンテナンスシステムの研究<研究>

株式会社日本リフツエンジニアリング(港北区)

国際航路の客船や大型商船に設置されたエレベーターの稼働状況やデータを端末に記録し、船舶が入港した際にIPネットワーク網を経由してエレベーターの遠隔診断をするシステムの研究。

10 高生産性・高品質な半導体基板材料用の環境対応型加工液の開発<開発1か年計画>

パレス化学株式会社(金沢区)

半導体基板材料のスライシング加工に使用する加工液について、高い生産性を実現しながら高品質なシリコンウェハを製造することが出来る環境負荷の少ない水溶性の加工液を開発する。

11 タービン駆動コアリングシステム用ダイヤモンドビットの開発<開発1か年計画>

ピースダイヤモンド工業株式会社(都筑区)

地球深部探査船「ちきゅう」に搭載する深海の硬質岩盤を削孔する最新式タービン駆動式削孔装置に適合したダイヤモンドビットの開発。

12 超小型光学一体分光センサモジュールの開発<新技術・新製品開発2か年2年目>

マイクロモジュールテクノロジー株式会社(鶴見区)

分光センサパッケージと光学ユニットが一体となった業界最小サイズの分光センサモジュールを開発する。

お問合せ先

経済局ものづくり支援課長 中村 隆幸 Tel 045-671-3839